

予算審議質疑応答

〔一般会計〕

▼総務費

- ◎ 総合健診にメンタル面の診断は入っているか。
- ▲ 総合健診には入っていないが、個人的にオプショナルで受けることができる。また、産業医を委託しており、受診することもできる。
- ◎ 職員の海外研修の内容は。
- ▲ 市町村振興協会が主催する事業に職員一人を参加させるもので、研修地等は未定である。経費は町の負担が概ね4分の1、残りは市町村振興協会となっている。
- ◎ 母村十津川村との交流事業の内容は。
- ▲ 開町記念式に来町された際の経費、水害慰霊祭に参列する経費、各種団体が母村に行く際の支援や母村から来られた時の受入れに必要な経費を計上している。青年や児童

生徒の交流経費は、別途計上している。

- ◎ 町長車購入予算が少なすぎるはなぜか。
- ▲ 備荒資金組合から購入資金を借り、初年度は、利息のみの計上。28年度から本体の返済となる。
- ◎ 消耗品等は、町内業者から納入すべきと考えるが。
- ▲ ルールにのっとり行っており、見積もりを比較した結果、地元が不利となる場合もある。従来も金額によっては、地元業者への配慮をしている。
- ◎ JR新十津川駅から滝川までの公共交通機関について、新十津川駅前や空知中央病院前にバスの停留所を置けないか。
- ▲ 浦臼、上総進線が近くを運行しているが、中央バスの運行計画の変更や陸運局の許可が必要で簡単ではない。
- ◎ 新年度における地方創

生予算は。

- ▲ 地方創生関連予算は26年度補正予算で計上し、執行は27年度となる。地方総合版戦略ビジョンを策定し、地方創生関連予算を申請することになるが、住民要望を把握するため、総合行政審議会などからも意見を聴取する。
- ◎ バス停の待合所設置の考え方について。
- ▲ 従来から待合所は、地元を除雪、清掃を含めて管理をお願いしている。
- ◎ ふるさと応援寄付金の返礼内容は。
- ▲ 平成26年度から特産品の贈呈を実施している。今後の特産品、品数などをJAピソネや町内商店などと協議して充実していきたい。
- ◎ 行政区会館の建替えについて、人口減少の中どのように進めていくのか。
- ▲ 7か所の建替えを計画している。会館は、現在より小さめで二通りのタイプを予定し、行政区とも協議している。
- ◎ 誕生記念品の変更内容

は。

- ▲ 十津川産ヒノキ材を用いた1歳6ヶ月くらいから座れる幼児用いすを贈呈する。名前と生年月日を刻印し、親が自分で組み立てるようになっている。
- ◎ マイナンバーの内容は。
- ▲ マイナンバーは、社会保障や納税管理、災害時の対策に活用されるもので、各種手続きで住民票や所得証明などの添付がいらなくなる。本年秋季に個人番号が通知され、マイナンバーカードは、申請により作成される。
- ◎ 投票所が集約されて、投票率が下がってきているのではないか。
- ▲ 選挙の都度、啓蒙を行っている。また、成人式で新成人に対して投票のPRをしている。
- ◎ 民生委員の報酬は。
- ▲ 原則、無報酬である。
- ◎ 民生委員活動支援金の基準は。

▼民生費

▲ 北海道と同額を予算化している。

- ◎ 民生委員自ら協議会の運営費を負担しているのは。
- ▲ 今後の活動に応じ調査、検討していく。
- ◎ 臨時福祉給付金について、もっと周知を図っては。
- ▲ 関係する住民へ周知を実施しており、本年は2年目で趣旨が浸透し申請者が増えることを願っている。
- ◎ ゆめりあ部会事業は、参加者が大変満足している。町長にも見に来てほしい。
- ▲ 高く評価されていることは嬉しい。引き続き、しっかりと支援をしていく。
- ◎ 障がい者の就業の場の充実と生産物の購入は。
- ▲ 就業については、新しい法律が本年4月1日から施行される。物品については、限られた分野ではあるが優先的に発注し、調達していきたい。

▼衛生費